

2012年4月11日

日本物流学会 会員各位

第29回全国大会実行委員会
委員長 森隆行(流通科学大学)

第29回日本物流学会全国大会での報告者募集のご案内

会員各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本年の全国大会は9月14日(金)から15日(土)の日程(別紙1)で、神戸市にあります**流通科学大学**において開催致します。本年の統一論題は「**アジア時代のサプライチェーン**」(別紙2)とし、自由論題とあわせて多数の報告者を募集致します。

つきましては、同封の別紙3の各項目をすべてご記入のうえ、FAX または電子メールにて全国大会実行委員会まで、できるだけ早くご送信頂きますようお願い申し上げます。なお、**報告申込最終期限は6月1日(金)**です。応募方法は、学会のWEBサイト(<http://www.logistics-society.jp>)からもご参照いただけます。

【送付先】

第29回日本物流学会全国大会事務局

電子メール：taikai29@gmail.com (第29回全国大会専用)

F A X : 078-796-4904 (流通科学大学森研究室)

※全国大会では、報告の為の原稿提出と大会当日の発表が義務付けられています。期日までの原稿提出と、発表当日の日程が確保できることをご確認のうえ、応募してください。

※報告者に対する受領通知や研究報告集原稿作成のお願いは電子メールでさせていただきます。6月中旬頃までには事務局から「研究報告集原稿作成のお願い」をご送付申し上げます。

※各種の問い合わせ等は電子メールでお願い致します。電話での対応はできませんので、ご了承願います。

第 29 回日本物流学会全国大会プログラム (案)

統一論題 : アジア時代のサプライチェーン
会場 : 流通科学大学
日程 : 2012 年 9 月 14 日 (金) 講演・総会・懇親会
2012 年 9 月 15 日 (土) 研究報告会
主催 : 日本物流学会第 29 回全国大会実行委員会

9 月 14 日(金) 講義棟 VI 3 階 大教室 6301

09 : 30 受付開始 講義棟 VI 1 階 みかんホール

09 : 55-10 : 00 開催の挨拶 流通科学大学 森隆行

10 : 00-11 : 00 基調講演

神戸港埠頭株式会社代表取締役社長 犬伏 泰夫(予定)

11 : 00-12 : 00 特別講演 1

12 : 00-13 : 10 昼食

13 : 10-14 : 10 特別講演 2

14 : 10-15 : 10 特別講演 3

15 : 20-16 : 50 会員総会

17 : 00-18 : 30 懇親会

9 月 15 日(土) 講義棟 V 3 階 教室 5318~5321

09 : 00 受付開始

09 : 30-17 : 00 各セッション

参加費 学生会員 3,000 円 / 一般会員 5,000 円 / 非会員 7,000 円

* 懇親会費は一律 5,000 円

※時間は一応の目安で、発表件数などによって変更の可能性があります。

※9 月 13 日 (木) 午後にエクスカーション (船で神戸港を見学した後、チャーターバスで平清盛ゆかりの地巡り) が予定されております (神戸市みなと総局協賛 (予定))。

※後援・協賛 : 神戸港埠頭株式会社、神戸市みなと総局 (予定)

第 29 回日本物流学会全国大会 統一論題

「アジア時代のサプライチェーン」

統一論題の趣旨

近年、多くの企業がアジアへ進出していますが、特に最近は従来のように低コストを求めての進出だけでなく、進出先を有望市場ととらえての進出も増えています。そのなか、東日本大震災や円高が日本企業のアジア進出に拍車をかけています。特に、震災後に生産や物流拠点の分散を図る企業が増えており、関西地方などへの国内分散も増えています。海外へ分散している企業が多くなっています。海外のなかでは、中国の人件費の高騰の影響もあり、東南アジアや南アジアへの進出が急増しています。

一方で、FTA や TPP 交渉が進んでおり、更なる経済の自由化と国際貿易の拡大が見込まれます。このように地球規模の企業経営が進展していますが、その中心に位置しているのがアジアです。中国や東南アジアで活発な経済活動が見られていますが、バングラデッシュやインドなど南アジアにも拡大し、今後もアジア時代が続くと予想されます。

多くの企業が、業績の改善、サービスレベルの向上、費用の削減、在庫の削減、市場変化への対応などをサプライチェーンの統合によって達成してきました。顧客価値のもっとも大切な部分は製品価格とサービスレベルであり、この両方を同時に実現するのがサプライチェーンです。サプライチェーンの変革によって競争優位性の実現が可能となり、現在の地球規模に広がる企業活動を支えているのがサプライチェーンです。

そこで、今年度の日本物流学会全国大会は「アジア時代のサプライチェーン」というテーマを設定しました。サプライチェーンにおける新しい理論や技術及び物流に関する研究はもちろん、経済動向や企業動向そしてその結果としてサプライチェーンの変化や動向、さらにはサプライチェーンに対する行政のあり方など多面的な視点からの研究が必要とされていることでしょう。

学会員の皆様におかれましては、様々な視点に立った日頃の研究成果を積極的にご発表頂けますようお願いいたします。